

## 参考となる成果整理表

## 福島県で漁獲されるメバル類 3 種の種判別

福島県水産資源研究所 資源増殖部

## 1 部門名

水産業—資源管理—メバル

## 2 担当者名

岩崎高資・山田学

## 3 要旨

メバルは近年、Kai and Nakabo(2008)によりアカメバル、クロメバル、シロメバルの3種に分離されたが、市場において区別して販売しておらず、福島県の水揚げ情報は3種を含んだデータとなっている。シロメバルの資源評価の高度化に資するため、県内で採集されたメバル類の種判別を行った。福島県海域において漁獲されたメバルサンプル (n=295) の胸鰭軟条数から種判別を実施したところ、全体の約96%がシロメバルと判定されたことから、福島県ではシロメバルが漁獲の主体であるものと考えられた。

- (1) 2021年10月～2023年10月にかけて、福島県沿岸域(水深10～74m)で採集されたメバルサンプルを用い、種判別を行った(図1)。
- (2) Kai and Nakabo(2008)により、胸鰭軟条数15本をアカメバル、16本をクロメバル、17本をシロメバルと判定したところ、295検体中284検体(96%)が胸鰭軟条数17本でシロメバルと判定された(表1)。

表1 判定結果

| 胸鰭軟条数 | 個体数 | 割合 (%) | 判定    |
|-------|-----|--------|-------|
| 15    | 1   | 0.3    | アカメバル |
| 16    | 10  | 3.4    | クロメバル |
| 17    | 284 | 96.3   | シロメバル |

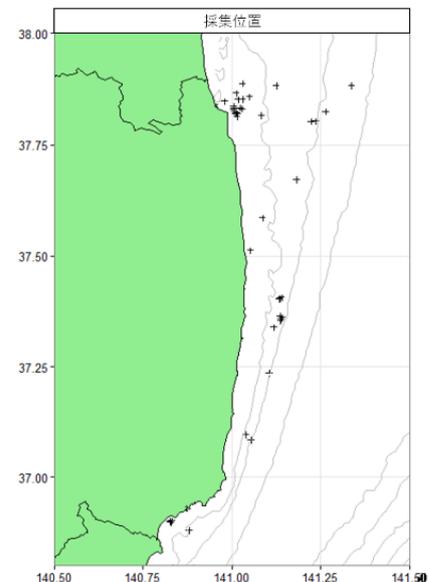


図1 種判別に供したメバルの採集位置

## 4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和3～7年度
- (2) 研究課題名 沿岸性底魚類の生態と資源動向の解明

## 5 主な参考文献・資料

- (1) Kai, Y. and T. Nakabo (2008) Taxonomic review of the *Sebastes inermis* species complex (Scorpaeniformes: Scorpaenidae). Ichthyol. Res., 55, 238-259.